＜地域型住宅グリーン化事業に対する取組み＞（長寿命型･ゼロ･エネルギー住宅型･高度省エネ型･省エネ改修型･優良建築物型共通）

様式3-1

グループ名称	東海優良住宅をつくる会
R2採択グループ番号	09 - 0210 - 0348

（1） 事務局体制の確認

（1）－1 ：グループ事務局の体制

選択項目	
□	専任の担当者を配置している
□	事務局担当者が複数人いる
■	事務局担当者には常に連絡が取れる
□	外部の業者に部分的に業務委託をしている 業者名
□	外部の業者に全ての業務を委託している 業者名
□	事務局担当者が複数のグループを担当している

（1）－2 ：グループのサポート体制

選択項目	
■	基本的に施工事業者が全て行い、交付申請等補助申請のみ対応
□	設計申請等のサポートが出来る体制になっている
□	施工に関するサポートが出来る体制になっている
□	維持管理に関するサポートが出来る体制になっている
■	地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている
□	その他、グループ特有のサポート体制がある 内容

（1）－3 ：グループ内の情報共有の方法

選択項目	
□	グループ内でR3年度事業説明会を実施する
□	SNS等の情報共有ツールを使った情報公開･共有
□	メール･メーリングリストを使った情報発信
□	ホームページ等Webを使った情報共有･発信（会員専用ページなど）
■	TEL･FAXを使った情報共有･発信
□	その他 内容

（1）－4 ：所属工務店の廃業等があった際の対応について

選択項目	
□	指定ルールに基づいて積立を行っており廃業があった際の検査費用として活用し維持管理を引き継ぐ工務店を紹介する。
□	グループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介
□	グループ事務局にて維持管理を代行
□	グループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
■	第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
□	グループ事務局として対応しない
□	その他 内容

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型･ゼロ･エネルギー住宅型･高度省エネ型･省エネ改修型･優良建築物型共通）

様式3-2

グループ名称	東海優良住宅をつくる会
R2採択グループ番号	09 - 0210 - 0348

（2） 地域型住宅の仕様、品質に関する取組み

（2）－1 ：主要構造部(柱･梁･桁･土台)における地域材の推奨する割合

選択項目					
□	50%未満	■	50%以上	□	80%以上

（2）－2 ：グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組み

選択項目			
□	設計性能評価書を取得している	□	ZEHに取り組んでいる
□	建設性能評価書を取得している	□	BELSに取り組んでいる
□	耐震等級3を取得している	□	低炭素住宅の認定を取得している
□	ゼロ･エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している		
■	その他 内容	耐震等級2以上を最低基準とした耐震木造住宅を推奨	

（2）－3 ：省エネ改修型の仕様･施工品質に関する取組み

選択項目		
□	推奨仕様 内容	
■	その他 内容	外部機関取り扱いの追加防水検査の推奨

（2）－4 ：地域型住宅の生産体制に関する取組み

選択項目			
□	地域型住宅で使用する用材の寸法規格化	□	使用する地域材の在庫把握の仕組み
□	地域型住宅の施工に関する統一基準がある。(一部箇所も含む)	□	指定(推奨)の建材･住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有
□	地域型住宅の信頼性確保に向けた検査ルールがある	□	地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行
□	地域型住宅の積算･見積もりに関する統一したルールがある	□	完成保証･地盤補償等の各種保険の添付(瑕疵担保責任保険は除く)
■	その他 内容	外部機関取り扱いの設備保証や延長瑕疵保険の推奨	

（3） 地域型住宅の維持管理に関する取組み

（3）－1 ：住宅履歴情報の管理･活用について

選択項目			
□	住宅履歴情報は施主が保管管理を行う	□	住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う
□	住宅履歴情報は施工工務店で保管管理を行う(施工工務店任せ)	■	グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する
□	その他 内容		

（3）－2 ：維持管理の実施に関する取組みについて

選択項目			
□	グループ共通の維持管理計画書に従って維持管理･点検を行う	□	グループとして外部の機関と提携(契約)して維持管理を実施
□	各社個別の維持管理計画書に従って維持管理･点検を行う	■	維持管理の実施に関しては施工工務店任せ
□	その他 内容		

（3）－3 ：グループ事務局で維持管理の対応について

選択項目	
□	グループ事務局が施工事業者に連絡して維持管理･点検を行う
□	維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する
■	維持管理の実施に関してグループ事務局では関与しない

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・ゼロ・エネルギー住宅型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）

様式3-3

グループ名称	東海優良住宅をつくる会
R2採択グループ番号	09 - 0210 - 0348

（4）グループのサポート体制

（4）－1 ：グループで実施、参加する研修会・講習会

選択項目			
□	補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会	□	省エネ改修に関連した研修会
□	地域型住宅の認定・評価書取得等の設計技術・知識に関する研修会	□	改正省エネルギーに関連した研修会
□	地域型住宅に関連した施工技術・知識に関する研修会	□	顧客提案等の営業手法等に関する研修会
□	地域型住宅の維持管理に関連した研修会	□	工務店経営に関連した研修会（人材育成・働き方改革・民法改正等）
□	住宅性の評価・表示協会が開催する講習会への参加	□	CCUS（建設キャリアアップシステム）に関連した研修会
□	住宅金融支援機構が開催する仕様書説明会への参加	□	事業者向け現場見学会
■	その他 内容	直接事業者へ出向きルール、、申請手続き、補助事業に関連する内容を説明	

（4）－2 ：グループ（事務局）の未経験工務店の割合

選択項目			
□	未経験工務店は所属していない	■	未経験工務店が1／3以上
□	未経験工務店の所属が1／3未満	□	未経験工務店がどれだけ所属しているかわからない

（4）－3 ：グループ（事務局）が実施している未経験工務店に対するサポート体制

選択項目			
■	未経験工務店への優先サポートの実施	□	営業支援（提案書作成・営業同行）
□	地域型住宅の補助活用マニュアル（手順書）の用意	■	事務局による交付申請書類作成支援
□	各種認定取得サービスの活用提案	■	事務局による実績報告書類作成支援
□	施工管理・施工検査のサポート		
□	その他 内容		

（5）地域産業・災害等への対応

（5）－1 ：地域社会との連携・継承等について

選択項目			
□	地域の伝統的なデザインの継承を意識している	□	地域の住まい方の継承を意識して対応する
□	地域の街並みの継承を意識して対応する	□	地域型住宅に和の住まいの要素を取り入れた対応を行う

（5）－2 ：和の住まいに関連した取組み

選択項目	
□	和室の提案や畳の活用を義務または推奨している 内容
□	和瓦の活用を義務または推奨している 内容
□	襖や障子の活用を義務または推奨している 内容
□	地域の伝統的な素材を活用する取組みを行っている 内容
□	その他 内容

（5）－3 ：災害発生時・発生後の対応についての取組み

選択項目	
■	特に取り決めていることは無い
□	取組みを行っている 内容

（5）－4 ：災害発生時の取組み等に対しての国土交通省より情報提供の受け取りに関して

■	情報提供を受ける	□	情報提供を受けない

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取組み＞（長寿命型・ゼロ・エネルギー住宅型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）

補足資料

グループ名称	東海優良住宅をつくる会
R2採択グループ番号	09 - 0210 - 0348

（6）消費者への広報

（6）-1 グループの消費者への広報

選択記載項目	
■	グループの取組み等PRポイントについて 地域の住宅産業との取り組み強化、地域経済の貢献目的として、地場の工場で生産されている資材の活用を推奨し、雇用を含め地域経済にも貢献できるように努めています。その中の1つとしてグループの特徴である、建築現場の施工性の向上と廃材を低減させるサイディングプレカットへの取り組みを通じて建築現場の省力化、工期短縮等、需要への対応力を高めています。直近では職人不足や廃材処分費用が高騰している問題もありますが、外部団体（REGプレカット協議会）のHPを共有の場として活用し、技能や経験、付加価値を知ってもらうための仕組みも構築しています。
■	地域型住宅の性能・アピールポイントについて 東海地域では東南海地震が発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの地震が想定されているため、耐震等級2以上を最低基準とした安全安心の耐震木造住宅を推奨しています。また、昨今ヒートショックが原因と思われる自己の件数が増加しているため、主に断熱性能を高めていく必要があるため、断熱等性能等級4を基本とし、更に夏の日差しによる高温対策として、通気工法と遮熱交換のある透湿防水シート（遠赤外線反射率75％以上のもの）の組み合わせにより、輻射熱を抑え、壁体内の熱滞留を和らげる省エネルギー住宅を目指しています。
■	地域型住宅における地域材の活用について 令和2年度の補助金交付実績では、1棟あたり、平均の地域材使用量は10.5㎥であり、主要構造材の地域材使用率は100％であった。主要構造材使用率は60％以上とし、また、端柄材として垂木、根太、筋違い、破風板は100％地域材を使うこととしています。 使用する地域材としては、愛知県産材認証機構認証制度、静岡県産材証明制度、合法木材証明制度を採用しています。愛知県産材、静岡県産材という地元の資源を使用することにより森林を守り、また、合法木材を加工・流通・販売することで、構成員の信頼度を高めることにも繋がります。
■	引き渡し後の維持管理について 住宅の履歴管理として外部機関の「あんしんいえかるて」を利用します。サービス期間へ登録することにより、住宅の設計・施工、権利、資産に関する情報を、蓄積・閲覧することができ、また、点検指定時期（1年・3年・5年・10年・・）にメールにて告知することにより、点検時期のお知らせを可能としています。 住宅履歴情報を活用することにより所有者様にも以下のようなメリットがあるため、住宅履歴サービスの必要性、及び重要性を説明しています。 ①改修・リフォームの計画を建てることができるため、合理的なリフォームを実現できる。 ②設計、施工、維持管理等の住宅履歴情報がある住宅は既存住宅として売買する際、所有者、購入者が安心・納得して売買できる ③災害時に住宅履歴情報に基づいて迅速かつ適切な復旧や補修ができる。また、設備機器等に不具合があった場合の交換等の対応が円滑に実施できる。 履歴システム以外には、着工時にさらなる安心の提供へつながるための追加防水検査を推奨し、また引き渡しには延長瑕疵保険を推奨することにより、履歴管理との連携した維持管理を強化しています。

（6）－2 ：グループの消費者相談窓口

選択項目		
□	相談窓口等の連絡先がある	
□	TEL	
□	メールアドレス	
□	その他	

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取組み＞（ゼロ・エネルギー住宅型）

様式5

グループ名称	東海優良住宅をつくる会
R2採択グループ番号	09 - 0210 - 0348

（1）BELS認証による評価

（1）－1 ：提案種別

選択項目				
□	BELS認証による評価	□	評価委員会による評価	

※ BELS認証による評価を選択したグループは、下記設問に回答ください。

評価委員会とはWEBプログラムで対応できない省エネ手法を個別に評価する方法です。 評価委員会による評価のみの場合は、設問（2）のみに回答してください。

（1）－2 ：グループとして展開する地域（ゼロエネ住宅の供給予定地域）

選択項目																
□	1地域	□	2地域	□	3地域	□	4地域	□	5地域	□	6地域	□	7地域	□	8地域	

（1）－3 ：NearlyZEHでの申請

選択項目				
□	なし	□	あり	

（1）－4 ：ゼロエネ住宅の該当事業形態

選択項目						
□	請負	□	請負（太陽光発電のみ分離発注）	□	建売	

（1）－5 ：ゼロエネルギー住宅の取り組み

A：グループとしてゼロエネ住宅の供給に積極的ですか？

選択項目						
□	はい	□	いいえ	□	どちらとも言えない	

B：ゼロエネ住宅の省エネ性能について、グループで共有する数値目標は設定していますか？

選択項目				
□	はい	□	いいえ（要件に適応する住宅を供給する）	

C：具体的な設定されている数値目標を記入ください。（設問Bで「はい」と回答いただいた方へ）

回答		
外皮平均熱貫流率（UA値）	W/㎡・K	
□ この項目の設定なし		
全体のエネルギー削減量（R）	%	
□ この項目の設定なし		
太陽光を除くエネルギー削減量（R0）	%	
□ この項目の設定なし		

D：交付申請における外皮計算は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
□	グループ事務局が実施	□	申請事業者（施工事業者）にて実施	□	外注（外部事業者に依頼）
□	その他				

E：交付申請における一次エネルギー計算は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
□	グループ事務局が実施	□	申請事業者（施工事業者）にて実施	□	外注（外部事業者に依頼）
□	その他				

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（ゼロ・エネルギー住宅型）

様式5　モデルプラン

グループ名称	東海優良住宅をつくる会
R2採択グループ番号	09 - 0210 - 0348

F：交付申請におけるBELSの申請書作成及び申請は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
□	グループ事務局が実施	□	申請事業者（施工事業者）にて実施	□	外注（外部事業者に依頼）
□	その他				

（1）－6　：モデルプランによるゼロエネ住宅性能の試算で、モデルプラン計算は、どのような方法で行いましたか？

選択項目				
□	グループ事務局が実施	□	外注（外部事業者に依頼）	
□	その他			

（1）－7：モデルプラン計算結果（必ずモデルプラン計算を1つ以上入力ください）

No	想定する地域区分（1～8）	外皮平均熱貫流率（UA値）	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					
			全体 R（%）	太陽光発電を除く R0（%）	太陽光発電	太陽光発電　容量（kW）	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	既定の評価に含まれないもの（記述）
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

NearlyZEHのモデルプラン計算結果

設問（3）.でNearlyZEHモデルプランを選択した場合は、必ず1つ以上入力してください

No	想定する地域区分（1～8）	外皮平均熱貫流率（UA値）	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					
			全体 R（%）	太陽光発電を除く R0（%）	太陽光発電	太陽光発電　容量（kW）	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	既定の評価に含まれないもの（記述）
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

（2）評価委員会による評価　　（評価委員会による評価を選択の場合、ゼロエネ審査室より連絡があります）

（2）－1：導入する省エネ手法をお答えください

選択項目				
□	空気集熱式太陽熱利用システム	□	地熱利用	
□	その他			

（2）－2：現在の運用をお答えください

選択項目				
□	実際の物件に導入している	□	実際の物件に導入していない	